

ANDERSEN GROUP

2024年1月
アンデルセングループ 広報室

デンマーク王国 フレデリック 10 世国王陛下即位を 広島アンデルセンでも祝福

アンデルセングループ(本社:広島市中区、代表取締役社長:沼田二郎)は、企業活動のお手本とする国デンマークの新国王即位を広島の皆さまと一緒に祝いしたいと考え、フレデリック 10 世国王陛下即位後の1月15、16日の2日間、在広島デンマーク王国名誉領事館を兼ねる[広島アンデルセン]にご来店のお客様に祝福のメッセージをお寄せいただくとともに、デンマークのお祝いごとに欠かせない伝統菓子「クランセケー」を店頭で飾り、祝福します。このたびの王位継承は、昨年の大晦日、年末恒例のスピーチでマルグレーテⅡ世女王陛下が退位する意向を発表されたことを受け、デンマーク時間の1月14日にコペンハーゲンにあるクリスチャンスボー城にて行われます。

アンデルセングループでは、60余年におよぶデンマークとの交流の中で、デンマークの人々の生き方・価値観を学びその素晴らしさを社内外にお伝えしたいと取り組んでまいりました。その中で、1981年にはマルグレーテⅡ世女王陛下、そして1987年にはこのたび新国王となられるフレデリック皇太子殿下が広島アンデルセンにご来臨いただきました。また、1986年に創業者 高木俊介が在広島デンマーク王国名誉領事を拝命して以降、1992年に高木誠一、2019年に高木暁子とその任を受け継いでいます。

デンマーク中が祝福にあふれるこのときを、一緒に祝いすることを通じて、アンデルセングループはこれからも、「お手本は、いつもデンマーク。」の精神を大切に、デンマークとの交流、文化の発信を続けてまいります。

フレデリック 10 世国王陛下即位の祝福メッセージを受け付けます。

1月15日(月)、16日(火)の両日、1F サンドイッチスタンド前、2F レストラン受付に、祝福メッセージを書いていただくスペースを設けます。

お寄せいただいたメッセージは、広島アンデルセン館内4Fにある在広島デンマーク王国名誉領事室に展示する予定です。

フレデリック 10 世国王陛下と広島アンデルセン

1987年、デンマーク王国フレデリック皇太子殿下(当時19歳)が日本をご訪問になられた際、11月5、6日に広島アンデルセンにご来臨いただきました。

ご来臨を記念して開催した「アンデルセン・グルメの感謝祭～デンマークグルメフェア～」のテープカットをされたほか、在広島名誉領事主催の歓迎パーティにご出席されました。



デンマークのお祝いの伝統菓子「クランセケー」について

右上の写真で、創業者 高木俊介が手にしているのが、「クランセケー」です。マジパン(アーモンドペースト)を素材にしっとり焼き上げたコクのあるお菓子で、「冠のお菓子」という意味です。形も大きさもさまざまですが、ピラミッド型や牛の角をかたどったホーン型は、デンマークでは、ウェディングや新年などの祝いごとに欠かせないもので、1987年にフレデリック皇太子殿下にご来臨された際にもご用意しました。今回、広島アンデルセンでもこのたびの即位をお祝いして、特別な「クランセケー」を焼き上げ、飾ります。

本リリースに関するお問い合わせは、株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所 広報室まで
〒730-0045 広島市中区鶴見町2-19 ルーテル平和大通りビル Tel: 082-240-9409

ANDERSEN GROUP

補足資料

アンデルセングループとデンマークの交流

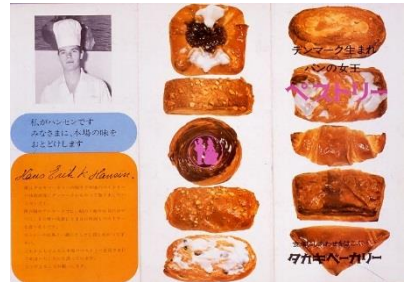
◆ 創業者 高木 俊介とデンマークの出会い

高木は、戦後の広島で「高木のパン」を創業した頃、内村 鑑三著『デンマーク国の話』を読み感銘を受けます。本には、戦争に敗れて荒廃したデンマークが国民の英知によって永い時間をかけ復興していく様が記されていました。「戦いに敗れても、国は亡ばない」という話が当時の日本と二重写しになり、「事業も永い時間をかけて育てるべきだ」と、デンマークに惹かれる発端となったといえます。そして 1959 年、高木は欧米視察に出かけ、ヨーロッパの最後に初めてデンマークを訪れました。このとき高木は、一人ひとりが自立して暮らしを楽しんでいる人々の姿、合理性を重んじ本質を見つめる心など、デンマークという国そのもののあり方に魅了されます。後に、「この国には、商品の質の高さ以上に、わが社の目指す企業の生き方の手本になるものがたくさんあるように感じられた」とこのときの訪問を振り返っています。



◆ 日本で初めてデニッシュペストリーを発売(1962年)

1959 年に初めて訪れたデンマークで、高木はホテルの朝食で食べたデニッシュペストリーのおいしさに驚き感動します。帰国後、このおいしいパンを日本の皆様にも食べてもらいたいとの一心で、デニッシュペストリーの再現に挑み続けました。デンマークから職人を招き、またデンマークへ技術者を送り、幾度となく指導を受け、3年後の 1962 年に日本で初めてデニッシュペストリーを発売しました。



◆ デンマーク王室との交流

1959 年に創業者が初めてデンマークを訪れて以来、デンマークの文化や生活に触れ、企業のアイデンティティをデンマークに求めてきたアンデルセングループ。1981 年にマルグレーテ II 世女王陛下とヘンリック王配殿下が広島アンデルセンに、2004 年にヘンリック王配殿下が青山アンデルセンにご来臨くださるなど、デンマーク王室との関係を築いてきました。また、高木 俊介、高木 誠一が、デンマーク王室よりデンマーク名誉領事に任命されたほか、デンマーク王国よりダネブロー騎士勲章を授かっています。



◆ ベーカーリー「アンデルセン」をデンマークに出店(2008年)

アンデルセングループの創業 60 周年を迎えた 2008 年、デンマークの首都コペンハーゲンにベーカーリー「アンデルセン」を出店しました。1959 年の出会いから多くを学んできたデンマークへの感謝を込めた恩返しであり、またデンマークから学んでそのおいしさを守り続けてきたデニッシュペストリーの里帰りでもありました。デンマークで商売をし、社員が暮らすことで、デンマークを内側から学びさらに理解を深めていきたいとの想いがあります。



◆ デンマークに桜の木を寄贈(2002年、2005年)

創業者の高木 俊介が逝去した翌年の 2002 年、デンマークへの感謝と永きにわたる友好関係のしるしとして、ガウノー城に桜の木 150 本を寄贈。また 2005 年にはデンマークの童話作家 H.C.アンデルセン生誕 200 年を記念し、コペンハーゲン市内のランゲリニエ公園に 200 本の桜の木を寄贈。毎年美しい花が咲き、2008 年からは桜フェスティバルが毎年開催され、デンマークと日本の文化交流の場となっています。

